第79回富山県民スポーツ大会　陸上競技
兼第80回国民スポーツ大会第2次予選会要項

一　部

期　　日　2026年7月18日（土）・19日（日）

場　　所　富山県総合運動公園富山県陸上競技場
富山市南中田368　TEL　076-429-8835

実施要領

1　種目及び日程

成年男女・少年男女　　7月18日（土）　第1日・・・9時00分より競技開始
7月19日（日）　第2日・・・9時00分より競技開始

2　競技種目　　◎　1日目種目

種別			種目
男子	成年		◎100m、300m、◎800m、110mH、◎400mH、◎3000mSC ◎走高跳、走幅跳、◎砲丸投、円盤投、◎やり投
	少年	A	◎100m、300m、◎5000m、◎300mH、5000mW ◎三段跳、円盤投、ハンマー投、◎やり投
		B	◎100m、3000m、走幅跳、◎砲丸投
		共通	800m、110mH、◎走高跳、棒高跳
女子	成年		100m、◎300m、◎800m、100mH、400mH、5000mW 走高跳、◎棒高跳、三段跳、◎砲丸投、ハンマー投、◎やり投
	少年	A	100m、◎300m、◎800m、3000m、300mH、2000SC、5000mW 三段跳
		B	100m、1500m、◎走幅跳
		共通	◎100mH、◎やり投

◇成年男子3000mSC、成年女子走高跳、成年女子棒高跳には、少年区分からもエントリーできる。

3　競技上の規定及び方法

2026年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、下記の要領で実施する。

(1) 少年男子A300mハードルの、ハードルの高さは、0.914mとする。
(2)少年男子A円盤投の円盤の重さは、1.750kgとする。
(3)少年男子Aハンマー投のハンマーの重さは、6.000kgとする。
(4)少年男子Aやり投のやりの重さは、800gとする。
(5)少年男子B砲丸投の砲丸の重さは、5.000kgとする。
(6)少年男子共通110mハードルのハードルの高さ/ハードル間は、0.991m/9.14mとする。
(7)少年女子A300mハードルの、ハードルの高さは、0.762mとする。
(8)少年女子共通100mハードルのハードルの高さ/ハードル間は、0.838m/8.50mとする。
(9)少年女子共通やり投のやりの重さは、600gとする。
(10)少年男子A5000mW、成年女子5000mW、少年女子A5000mWはエントリー数によっては同時スタートになる場合がある。
(11)「ふるさと選手登録」で出場する場合は、オープン参加とし、トラック種目は1レース、フィールド種目は3試技とする。
(12)2026年度の富山陸上競技協会登録配付のアスリートビブスを使用すること。

4　出場資格

(1)2026年度日本陸上競技連盟競技者として富山県登録している者。

(2)学連登録競技者で富山県登録の手続きが完了している者

(3)選手の年齢基準

・成年の部は、2008年4月1日以前に生まれた者。

・少年Aの部は、2008年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者。

・少年Bの部は、2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者。

(4)本年度(2026年度)より、国民スポーツ大会の「ふるさと選手登録」は、富山陸上競技協会が依頼した者にかぎる。

5　申込制限

(1)人員及び種目数　制限なし

6　申込方法及び参加料

日本陸連エントリーシステムから個人もしくはチームで申し込みをする。

【URL】http://athleticfamily.jaaf.or.jp/

※日本陸連エントリーシステムのマニュアルを参照して申し込むこと。

(1)申し込み(エントリー)期間は、2026年6月8日(月)～6月19日(金)とする。
参加料支払い期間は、2026年6月8日(月)～6月22日(月)とする。

(2)支払いを持ってエントリー完了となる。完了後は追加申し込みはできない。

(3)参加料【1人1種目につき1,300円】は、エントリーシステム内の指示に従い支払うこと。
尚、支払にかかる手数料は参加者の負担とする。

(4)参加料の支払いが完了するとエントリーシステム内で【支払証明書(領収書)】の印刷が可能となる。

7　表　彰

(1)2位まで表彰を行う。

8　その他

(1)競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者側にて行うが、以後の責任は負わない。

(2)参加高等学校は補助員のご協力をお願いします。

9　個人情報の取り扱いについて

(1)主催者及び共催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。尚、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

(2)大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者・共催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等に掲載することがある。